

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルホームひまわり（桜木）		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・アセスメントに基づき、きめ細やかな個別支援計画書を作成しており、評価もしっかりしている。	・日々の支援現場での行動観察、保護者との個別面談等をふまえた丁寧なアセスメントを心がけている。 ・項目を細分化することにより個々に合わせた個別支援計画の作成を行っている。 ・個別支援計画に則り、支援の振り返りを行うことで今後に繋げている。	・的確な個別支援計画等を作成するために、こども一人ひとりに応じた支援方法について職員間で情報共有するとともに、OJTを通して研鑽を積み更なる支援技術の向上に取り組む。
2	・個別支援計画に基づく個々の特性やニーズを的確に捉えた発達支援に取り組んでいる。	・個々の状況に合わせながら構造化やスモールステップ等の支援を適切に行い、意欲や自主性、達成感をもって活動に参加できるようにしている。	・引き続き、指導員や保育士、理学療法士と情報共有を行いながらチームでの支援に取り組んでいく。
3	保護者さまやお子さま本人の意向に寄り添った支援（共感的）を行えるよう心がけている。	・連絡帳や送迎時のやりとりを利用し、保護者さまとお子さま本人の意向や様子の共有を行っている。保護者さまから発信があった言葉の意味や背景を汲み取り、共感に努めている。	保護者さまとお子さま本人との信頼関係を構築し、共感的支援とともに、相談があった際には助言とアドバイスの提案を行っていく。保護者さまの意向に合わせた面談時間を設け、家族支援の充実を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者さま同士の交流や地域交流、きょうだい支援のイベントを設けていない。	保護者さま同士の交流やきょうだい支援については、スタッフの勤務の都合や保護者さまのニーズ、参加方法の検討を十分に要する。地域交流においても、療育事業がどのような場所や環境で展開されているか、公表する手段や機会が不十分である。	・地域交流においては、法人間や近隣事業所間での利用児童さま方の交流機会を設けていきたいと考える。保護者交流については、保護者さまの意向をヒアリングしながら必要に応じて開催を検討したい。
2	・自己評価やアンケートの結果、ホームページにて活動の様子等を見られることが周知されておらず、避難訓練等の実施をお知らせ出来ていない。	スタッフをはじめ、保護者さまにも見てもらえるようホームページや付随するSNSを周知する努力ができていない。	・毎月の配布物のなかにある活動予定表などにホームページやSNSのURLやQRコードを載せ、見ていただけるようにする。 ・避難訓練等の様子などの画像を適時アップする。
3	物的面におけるバリアフリー化、ユニバーサルデザインが進んでいない。	・活動空間の清潔感と安全面の検討を図りながら支援環境を提供しているが、トイレや洗面台、棚などの設置場所の高さや大きさの調整までは出来難い。利用するお子さまが使いやすい配慮には限界がある。	・代替案や改善点を検討し、物的面における安全性や利便性を高め、支援につなげていきたい。支援にあたる職員の動線も考慮していく。